

第1回 鹿嶋市立学校制服・体操服デザイン等検討委員会 議事録

会議概要

【会 議 名】第1回 鹿嶋市立学校制服・体操服デザイン等検討委員会

【開催日時】令和8年9月11日（金）9時30分～11時30分

【開催場所】鹿嶋市役所3階 会議室305

【出 席 者】委員：小中学校校長2名、教頭2名、教務主任2名、各中小学校PTA5名、教育指導課1名
事務局：総務就学課3名

開会・委員紹介など

【開会・教育長挨拶】

川村教育長より

少子化やジェンダー平等の課題解決、コスト面や保護者の負担軽減を背景に、市内統一の制服・体操服の導入に向けた検討を進めるため本委員会を立ち上げた。

従来の制服や体操服に対する疑問や課題について、委員の皆様の忌憚のない意見を伺いながら決定していきたい。

【自己紹介】

出席者による自己紹介。

【委員長・副委員長の選出】

事務局より「設置要綱」の説明後、役員の選出案が提示され、承認された。

委員長：●●氏（鹿島小学校 校長）

副委員長：●●氏（鹿島小学校 PTA）

委員長挨拶：子どもたちの安全で快適な学校生活のため、積極的な意見交換を行っていきたい。

協議内容

【(1) 制服・体操服検討に係る経緯や課題について】

○制服に関する課題

- ・ジェンダー平等の対応の困難：学ラン・セーラー服は性別を特定するため、多様性への配慮に対する課題が生じている。
- ・学校ごとのデザインのばらつき：セーラー服のデザインが学校ごとに異なり、お下がりの活用や親族・友人間の融通が難しい。
- ・猛暑への対応の限界：夏場の暑さ対策として体操服登校等が認められるケースが多く、制服の着用機会が減少している。

○体操服に関する課題

- ・小中学校での不連続性と経済的負担：小中でデザインが異なるため、中学校進学時に買い直しが発生する。
- ・学年カラーによる譲り渡しの制限：体操服のカラーやラインが学年ごとに異なるため、兄弟間や近所での譲り渡しが制限される。
- ・素材、機能性の課題：白い半袖シャツは汗で下着が透けやすく、多感な時期のプライバシーへの懸念がある。
- ・個人情報保護の問題：胸元等の大きな名前の刺繍やワッペン、学校名により、防犯上のリスクがある。

○主な質疑・意見交換（制服・体操服の方向性について）

【制服・体操服の必要性和ルール】

TP0（行事や冠婚葬祭など）を考慮すると制服は必要という意見の一方、自転車通学などで日常的に体操服登校が常態化している実態もあり、制服の必要性や着用ルール自体を改めて議論すべき。

【素材・洗濯・選択肢】

- ・従来の学ランやセーラー服は自宅での洗濯やアイロンがけ、縮みや型崩れの面で負担が大きい。
- ・アトピーなど肌が敏感な子どものために、ポリエステルだけでなく綿といった素材や、暑さへの対応からポロシャツの導入など選択肢があると嬉しい。
- ・ワイシャツの指定について、量販店の安価なものも活用できるよう小物指定を外してコストを抑えてほしい。

【学年・学校の判別（識別）の必要性】

- ・全面統一により「何年生か」「どこの学校の子か」が分からなくなることに對し、教員側から生徒指導や校外トラブル時の見分け、保護者側からも有事の際の連絡の観点から不安の声が挙がった。
- ・一方で「学年カラーは不要」「学校名や大きな名前は防犯上怖い」という意見もあり、ワンポイントの校章やネクタイの色分け、着脱式ネーム、室内履きの色違いなどで学校や学年を判別できる工夫ができるのではないか。

【価格・コストの抑制】

- ・近年の原材料費高騰を踏まえ、耐久性を維持しつつできるだけ価格を抑えられる業者選定や、シンプルなデザイン設計を求める声が上がった。

【(2) デザインの変更時期について】

○変更時期の案

- ・最短で令和11年4月からの新デザイン変更を想定（検討に約1年半、メーカーの準備期間に約1年）。
- ・市内販売店の在庫状況に配慮しつつ、制服と体操服は同時に一斉変更することが望ましい（1年ずらすと保護者負担や現場の混乱が大きい）。
- ・新旧デザインが混在する移行期間として約2年間を設定する。

○刷新の方向性案

- ・制服：ジェンダー平等を考慮したブレザータイプの導入。市内全中学校でデザインを統一し、お下がり の容易化やコスト削減を図る。学校の個性はネクタイやリボンの小物で持たせる案もある。
- ・体操服：小中学校を通じて一貫・連動したデザインとし、体操服の学年カラーやラインは廃止する。透けにくい濃いカラー（紺など）の採用、速乾素材、氏名の内側表記や着脱式ネーム等の導入を検討。

○特記事項（鹿島中学校・鹿野中学校の扱い）：

- ・鹿島中学校はメーカーの都合等により令和8年4月に急遽デザイン変更した経緯があるため、販売店やメーカーへの配慮から、市内統一よりも1年遅らせて令和12年4月からの新デザイン移行とする。
- ・鹿野中学校は素材変更のみでデザイン変更ではないため、他校と同様に令和11年4月からの移行で問題ない旨を確認済み。

【決定事項】

- ・制服・体操服のデザイン変更時期について、最短の準備期間を考慮し、令和11年4月から変更する方向性で進めることが了承された。
- ・市内統一や具体的なデザイン仕様、着用ルールについては、今後のアンケート結果を踏まえ、第2回以降の委員会で引き続き協議することとなった。

【(3) 児童生徒・保護者・教職員へのアンケート調査について】

○実施概要

- ・対象：小学4年生から中学3年生までの児童生徒、小中学校の全保護者、全教職員。
- ・方法：オンライン入力フォーム（QRコード読み取り）による実施。自由記述欄の集計・分析にはAIを活用予定。
- ・内容：現在の制服・体操服の必要性や意識、市内統一デザインへの賛否、ブレザー・ポロシャツ導入への意向、スカート/スラックスの選択、体操服の氏名表示方法など。

○協議・意見

- ・アンケート項目については、今回の委員会の意見を反映させる形で、事務局に一任してバージョンアップを図ることとする。

今後のスケジュール・その他

- ・第2回検討委員会：令和8年12月頃を予定
- ・10月に実施するアンケート結果や意見をもとに、着用ルールや具体的な運用方法（学校、学年の識別・方法など）について協議する。
- ・委員会の議論や協議内容は、保護者や学校現場へ適宜周知・共有を図っていく。